

特集

～会堂建築物語 第8章～

「おもしろ仲間がやってきた! 2」

はじめに

2008年に再生工事開始。一度にできないので空間よりも時間をデザインしようとして建築家の提案を受けました。まず礼拝堂、2015年に付属建屋の再生と牧師館を建築しました。何を建てるかより、何が起こるかが重要だと歩んできましたら、仲間を与えられました。「弱さを元手にけじめなく」、そのままを互いに認め合う「ひだまり」を願い「里山」ができました。出会いに励まされ、「化学変化」を楽しんでいます。特集「おもしろ仲間がやってきた2」をお届けいたします。

音楽が好き

ヴォイス・オブ・プレイズ

鶴川 尚美



♪音楽との出会い

私は音楽が好きである。私の音楽との出会いは、たぶん幼少時代に保育園の友達がピアノを習っていて羨ましくなり親にせがんで習わせてもらってからである。ピアノの先生に私は手が小さいからオクターブが届かないだの関節が硬くて手が開かないだの言われながらも、なぜかやめることができず高校まで続いた。しかし、その頃からクラシックよりもポップスがかっこよく見えて友達とバンドをつくり、レベッカやプリンセスプリンセスのコピーをした。鍵盤しかできないのでキーボード担当。バンドのメンバーでメジャーデビューしてホントに有名人間になった人がいたけど、今思えばもっと仲良くしとけば良かった！

歌との出会いは中学生の時に合唱部にいたことがあり、その時にみんなと声を合わせる楽しさを知った。しかし大抵ピアノ伴奏担当が多かったなあ。でもそれはそれで楽しい。結婚してからは子育てで忙しくなり自分の時間があまりと

れなくなったけど、いつかコーラスみたいなサークルに入りたいと思っていた。でもやっぱりノリのいいゴスペルも興味あるなと。

♪ヴォイス・オブ・プレイズ

& 島松伝道所との出会い

二〇二二年、2人の子供も中学生になり夜出かけられるようになった。そこはいよいよ、私の好きなことを始めたい！と千歳のカルチャースクールに行ってみた。歌詞の紙を渡され見よう見まねで歌ってみた。ゴスペルは英語なんだー、発音がうー汗 大事な言葉「Cult」で指導された。私はキリスト教ではないのでたぶんよく分からずうたってたんだ。終わってすぐにリーダーらしき女性が話しかけてくれた。「恵庭に住んでるならもっと近くて良いところあるよ」と。初回でそんなこと言ったら良いのか、すごい人だなあと考えたけど、それが島松伝道所のヴォイス・オブ・プレイズのリーダー、ミルキイだった。

♪そして今

ヴォイス・オブ・プレイズに入ってから7年になる。はじめの頃はただただ歌うことが嬉しくて好きなように歌っていた。たぶん変な音も出していただろう。しかも声がデカイのできつとみんなの歌の邪魔をしてきただろう。優しく見守ってくれた仲間たちに感謝。講師のナツキ先生は最初はほとんど目を合わせてくれなかったけど、今では意見を求められたり、たまにだけソロで歌わせてもらったりしている。少しは頼りにされるようになってきたかな？島松伝道所も最初は懐



クリスマス・イブ平和賛美礼拝のあと、近隣の病院で讃美！
しめはうどん食堂で愛餐会！！

かしい感じの昭和の建物だったけど、二〇一五年には改築しトイレも素敵になった。キッチンスペースと食事席のあるうどん食堂ができ、集まる時には美味しいものが食べられそうなおスペースもできた。昨年は音響設備も充実し、木の教会ならではの温かい音が響くようになったと思う。普段会うことのないミュージシャン達が集まる島音祭（シユマオマブ）は、一緒に音楽を奏でたり交流できる。島松伝道所は、アマチュアの私たちにとっては非常に魅力的な空間である。そして何と言っても牧師の徹也先生、明子先生の温かな人柄にいつも癒される。いつも余裕のない自分だから、心が洗われるというか人に優しくありたいという気持ちにさせられる。

ヴォイス・オブ・プレイズは毎週火曜日19時15分からみんなで集まってワイワイ練習している。年一度はライブもあり、それに向けて練習中である。自分で言うのもなんだが、最近ハーモニーが気持ちよく感じられるようになったので聴く価値ありと思う。聴いたことない人、一度遊びにどうぞ！